

令和2年度（追加募集）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

入学試験問題 外国語科目（英語）

注 意

- 1 試験時間は45分。
- 2 問題紙は 1 枚（表紙を除く）、解答紙は 1 枚、草案紙は 1 枚。
- 3 辞書の持ち込み不可とする。

【設問】 次の英文を読み、下線部①～④を日本語に訳しなさい。

ここに当該文献の  
p.ix, L.2 "It is not always" から p.ix, L.-8 "North America"まで  
および  
p.x, L.3 "The second set" から p.x, L.15 "but a few."  
の部分が掲載されています。

また、以下の部分に下線が加えられています。  
下線部①: p.ix, L.2 "We may have been"  
... L.6 "assess conflicting 'rights'."  
下線部②: p.ix, L.17 "Moral codes and social codes"  
... L.19 "other religious specialist."  
下線部③: p.x, L.3 "The second set of"  
... L.4 "general changes in societies."  
下線部④: p.x, L.8 "Many societies are"  
... L.12 "their own ethical problems"

なお、p. でページ数を表します。  
L. でページ先頭からの行数を表し、  
負数の場合はページ末尾からの行数を表します。

注) purveyor 提供者, 供給(業)者

(Robert A. Hinde, *Why good is good: the sources of morality*, 2002, London:  
Routledge, pp. ix ~ x. より作成)

令和2年度（追加募集）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

入学試験問題 外国語科目（日本語）

注 意

- 1 試験時間は45分。
- 2 問題紙は2枚（表紙を除く）、解答紙は1枚。
- 3 辞書の持ち込みは不可とする。

設問 つぎの文章を読み、問1~4に答えなさい。

ここに当該文献の  
p.7, L.2 から p.8, L.17 まで  
の部分が掲載されています。

また、以下の部分に下線が加えられています。

- 下線部①: p.7, L.8 "まちやものは" ... "作られてきた"
- 下線部②: p.7, L.15 "障害を" ... "大きな力"
- 下線部③: p.8, L.3 "このまま" ... L.4 "後悔したくない"
- 下線部④: p.8, L.11 "IT機器が" ... L.12 "起きるだろう"

なお、p. でページ数を表します。  
L. でページ先頭からの行数を表し、  
負数の場合はページ末尾からの行数を表します。

(関根千佳『「誰でも社会」へ デジタル時代のユニバーサルデザイン』岩波書店, 2002,  
7-8頁, 一部改変)

問1 下線部(1)で、著者は「まちやものは、これまで元気な若者を基準に作られてきた」と述べている。著者はどのような事例を思い描いていただろうか。あなたの考えを簡潔に書きなさい。

問2 下線部(2)で、著者はITが「障害を持つ人にとって大きな力」となると述べている。この点について、あなたが知っている具体例を簡潔に書きなさい。

問3 下線部(3)で、著者は「このまま歳をとって、日本人であることを後悔したくない」と述べている。著者はどのようなことに後悔したくないのかを本文に即して簡潔に書きなさい。

問4 下線部(4)で、著者は「IT機器が、どんな年齢や状況の人にも使いやすくなっていったとき、きっと新しい革命が起きるだろう」と述べている。教育分野ではどのような「革命」が期待されるだろうか。あなたの考えを400字程度で書きなさい。

令和2年度（追加募集）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

生涯教育科学コース

入学試験問題（専門科目）

注 意

- 1 試験時間は60分。
- 2 問題紙は 1 枚（表紙を除く）、解答紙は 1 枚、草案紙は 1 枚。

R2、追加前期一般（生涯）1

【設問】 あなた（受験者）の研究関心に即して、教育と社会・文化との関係性について論述しなさい。

令和2年度（追加募集）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

教育政策科学コース

入学試験問題（専門科目）

注 意

- 1 試験時間は60分。
- 2 問題紙は2枚（表紙を除く）、解答紙は2枚。
- 3 設問Ⅰ（共通問題）は全員解答すること。また、設問Ⅱ（選択問題）については、志望する領域の問題を選び、解答すること。
- 4 解答は、問題番号を明記の上、それぞれ別の用紙に記入すること。

R2、追加 前期一般（教育政策）1



設問 I : 共通問題 (全員解答すること)

次の表 1 は OECD が 2018 年に実施した『国際教員指導環境調査 : TALIS (Teaching and Learning International Survey)』の結果の一部である。この調査は OECD 加盟国を中心に 48 ケ国の教員を対象にした国際比較調査である。以下の表 1 に基づいて下記の問いに答えなさい (問 1 と問 2 の解答を解答紙 1 枚におさめること)。

表 1 学級の規律と学習の雰囲気

		児童生徒が授業を妨害するため、多くの時間が失われてしまう (a)	授業を始める際、児童生徒が静かになるまでかなり長い時間待たなければならない (a)	教室内は とても騒々しい (a)	この学級の児童生徒は良好な学習の雰囲気を創り出そうとしている (a)
中学校	日本	8.1%	11.4%*	12.4%	85.2%*
	日本(前回調査)	(9.3%)	(14.7%)	(13.3%)	(30.6%)
	参加48か国平均	27.1%	26.1%	24.5%	73.0%
小学校	日本	10.9%	16.4%	16.5%	86.8%

※ 対象学級(回答日の前の週の火曜日の午前11時以降最初に教えた学級)について、以上のことが、「非常に良く当てはまる」、「当てはまる」、「当てはまらない」、「全く当てはまらない」のうち、「非常に良く当てはまる」又は「当てはまる」との回答について整理している。

※ OECDは、(a)を付した全ての項目において統計的有意差検定を行い、「\*」は、今回2018年調査の日本の結果は前回2013年調査と比べて統計的有意差があると示している。

出典：文部科学省ホームページ ([https://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/other/\\_icsFiles/afieldfile/2019/06/19/1418199\\_2.pdf](https://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2019/06/19/1418199_2.pdf), 2020年3月6日最終確認。)

問 1 日本の中学校の「学級の規律と学習の雰囲気」について、国際比較の観点から明らかになる特徴を述べなさい。

問 2 日本の中学校の「学級の規律と学習の雰囲気」について、こうした特徴が生じる理由について説明しなさい (問 1 の解答と整合的に説明すること)。

設問Ⅱ：選択問題（志望する領域を選ぶこと）

以下の用語について、それぞれ200字程度で説明せよ（解答紙1枚におさめること）。

**【教育社会学領域】**

- ①情報の非対称性
- ②固定効果モデル

**【教育行政学領域】**

- ③県費負担教職員制度
- ④総合教育会議

**【比較教育学領域】**

- ⑤CEFR
- ⑥スカーフ問題

令和2年度（追加募集）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

教育心理学コース

入学試験問題（専門科目）

注 意

1. 試験時間は60分。
2. 問題紙は3枚（表紙を除く）、解答紙は3枚。
3. 【共通】【A/B/C-1】【A/B/C-2】の解答は、問題番号を明記の上、それぞれ別の解答紙に記入すること。
4. 志願する領域によって解答する問題が異なるので、注意すること。

「教授学習心理学」領域を専攻しようとするものは【共通】【A-1】【A-2】の各問題に解答すること。

「発達心理学」領域を専攻しようとするものは【共通】【B-1】【B-2】の各問題に解答すること。

「発達障害学」領域を専攻しようとするものは【共通】【C-1】【C-2】の各問題に解答すること。

R2・追加 前期一般（教育心理）1

<教授学習心理学領域>

【共通】 青少年期の人間的成長における学校教育の役割について、視点を定めて論じなさい。

【A-1】 「有意味学習 (meaningful learning)」とはどのような学習のことを指すのか。「機械的学習 (rote learning)」と対比させた形で説明しなさい。

【A-2】 学習形態としての「一斉授業」の有効性と限界について、「個別学習」と対比させながら論じなさい。

<発達心理学領域>

【共通】 青少年期の人間的成長における学校教育の役割について、視点を定めて論じなさい。

【B-1】 母子関係と仲間関係の関連を示す5つの理論（仮説）について述べた上で、社会性発達における仲間関係の役割について説明しなさい。

【B-2】 E.H.Erikson によるジェネラティビティ（Generativity）について、漸成発達理論における位置づけを明確にしながらか説明しなさい。

<発達障害学領域>

【共通】 青少年期の人間的成長における学校教育の役割について、視点を定めて論じなさい。

【C-1】 病弱支援学校に在籍する生徒（知的発達の遅れはないものとする）1名を想定し、必要な包括的な支援プランを記しなさい。その際に、①疾病あるいは障害に対する自己理解、②授業の出席に関する支援、③本人以外（クラスメイトや保護者）への支援、④環境調整の4つの視点を満たすこと。

【C-2】 特定の障害や症状を取り上げ、その障害や症状の原因と想定されているものとの関係について環境要因と個人内要因双方を含めて論じなさい。その際、その関係が閾値モデルであるのか線形モデルであるのかについても言及すること。